

ほとんどの旅館が休業中・老神温泉

コロナ問題で日本共産党が老神温泉旅館組合と懇談

日本共産党沼田市議団（井之川博幸、大東宣之）は、たなはしせつこ衆院1区予定候補、酒井宏明県議とともに27日、利根観光会館において、老神温泉旅館組合のみなさんから、新型コロナ感染問題について要望等を聞きながら懇談しました。

新型コロナウイルスの感染拡大が進んだ3月以降はキャンセルが多発し、3～5月の予約状況は、前年比▲83.4%と壊滅状況であり、ゴールデンウィークもほとんどの旅館が休業しているとのことでした。いろいろな対策の話があるけれども、「早くしてもらいたい」というのが、一番の要望でした。議員団は、「みなさんの要望を市、県、国につなげていきたい」と述べました。



旅館組合のみなさん(手前)から話を聞く井之川議員(左端)から大東議員、たなはしせつこさん、酒井県議

日本共産党アンケートを力に市議団が協力

飲食店守れ・民商が市長・議長に陳情



横山市長に陳情書を提出する田村沼田民商商業部会長と小林さん、増田事務局長

新型コロナウイルス感染症防止対策の外出自粛・営業要請などの影響を受け、お客さんが激減し、営業と生活が成り立たず、閉店・廃業の危機に陥っている市内の飲食店、居酒屋、スナック、運転代行業などの中小・個人事業者などがまとまり、24日、横山市長に営業を継続し、生活を守るための支援要請する陳情書（前号で紹介）と205(店)事業所、418筆の賛同署名もつけて提出し、横山市長と懇談しました。市長は、「5月1日に専決処分したい」と述べました。その後一行は、野村市議会議長にも同様の陳情書を提出しました。

また、これには日本共産党の井之川博幸、大東宣之市議が同行したほか、保守系会派から4人の議員が紹介議員となり市議会は超党派で支援しています。

医療・福祉及び市民生活の安心確保へ

民生福祉常任委員会が市長へ緊急提言書

井之川博幸委員が所属している民生福祉常任委員会は、新型コロナウイルス感染症に係る「医療・福祉及び市民生活の安心確保対策」の実施を求める緊急提言書を28日、茂木及び戸部正副委員長が委員会を代表して市長に提出しました。

緊急提言の要旨は、(1) 医療体制の確保に関することとして、発熱外来、PCR検査の設置を急ぐことや軽症者などの隔離のためのホテル等の確保について。(2) 生活支援に関することとして、子育て世代等への生活支援、生活資金貸付制度の「緊急小口資金」「総合支援資金」などの返済免除、市民へのマスク、消毒液の確保・供給、市税及び国民健康保険税等の減免措置等について。(3) 保育園・学童クラブ等に関することとして、「臨時休園」の実施、マスクの供給、バリアローブの供給、「登園自粛」にかかわる児童措置費の減額を行わないこと、保育士の「待遇改善」措置の継続、学童クラブの「休園措置」の実施、社会福祉・医療施設の現状把握と対策の実施などについて。(4) その他に関することとして、妊産婦対策、一人暮らし高齢者対策、虐待及びDV等への対策、陽性患者・医療従事者及びその家族に対する差別などを許さない人権対策について。(5) 情報発信及び啓発に関する



こととして、市民への情報提供と発信力の強化、電話相談窓口の延長強化、地域の会議等での感染防止について各区長やコミュニティ施設管理者への協力依頼などについて。

2020年5月3日 No.969

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料